

日通商事

加治木ガスターミナル起工式

無事竣工を祈願



日通商事(株)加治木ガスターミナル建設工事の起工式が8日、加治木町の建設予定地で行われ、発注者の日通商事(株)をはじめ関係者約30人が出席して無事竣工を祈った。

神事では、上國料武日通商事(株)福岡支店長が齋鐮之儀、井上繁日通不動産(株)常務福岡支店長が齋鐮之儀、福永和則福永建設(株)社長と水落正樹TACエンジニアリング社長が杭打之儀を行った後、西本公大日通商事労働組合の代表が、全社を挙げて持てる技術力、施工力を尽くし、満足いただける工事をお約束したい」と決意を語った。

同ターミナルは、加治

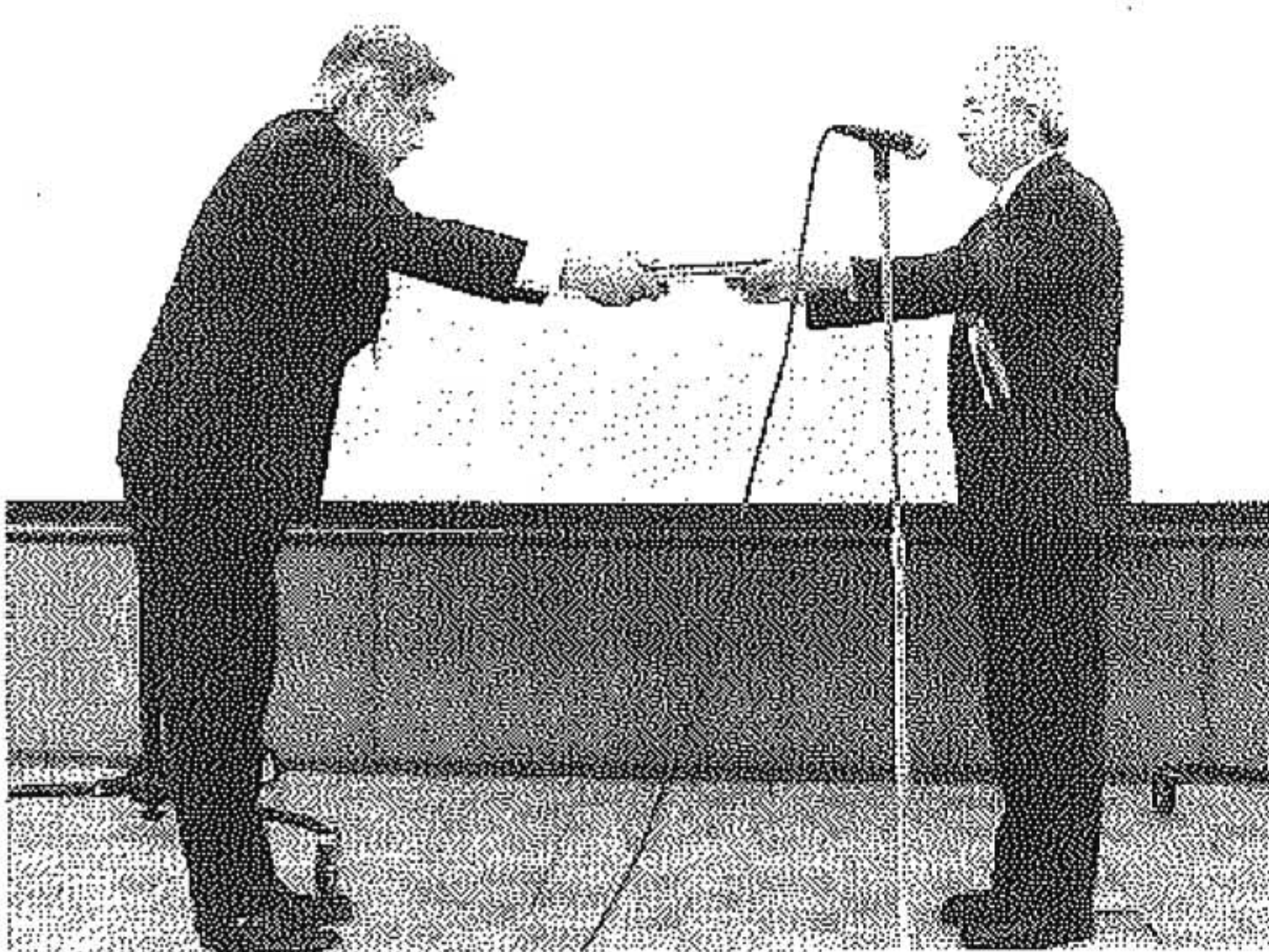
杭打之儀を行う福永社長(加治木町の現地で)

合九州支部執行委員長、川野威朗加治木町長、福田満アポロホームガス南九州(株)社長、下田清(株)ツバメガスフロロティア鹿児島支店長らが玉ぐしを捧げ、無事故無災害での完成を祈願した。

会場を始良町のウェルサンビ

ベンチャープラザ鹿児島・二水会

逆転の発想も必要



かごしま産業支援センター、県工業倶楽部、九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会の共催による第28回ベンチャー

木町木田の6927㎡の敷地に、S一部RC造平屋建て1099㎡を建設し、完成後は日通商事(株)

とアポロホームガス南九州(株)、(株)ツバメガスフロロティアが共同利用する。なお、設計監理は日通不

特別賞を受ける上中社長(左) 加、発表会や交流会を通して活発な議論や情報交換を行った。

約100人が参加、発表会や交流会を通して活発な議論や情報交換を行った。

会では冒頭、かごしま産業支援センターの吉留史郎理事長が挨拶した後、来賓の協田稔副知事が「本県の企業は新製品開発に対する意欲が高いと感じられ

プラザ鹿児島・二水会が8日、鹿児島市の鹿児島東急インで開かれた。同日は、中小企業や金融機関、行政機関の担当者ら

県豊工業組合針供養祭

伝統技術を次世代に



県豊工業組合(増田勇理理事長)は8日、鹿児島市の照国神社で針供養祭を開いた。県内各地から参加した組合員ら約50人は、1年間使用した針の供養を行うとともに今年1年の安全を祈願した。

針供養祭では、組合員全員が折れたり、さびついで使えなくなった針を神前に設置された特大のコンニャク

村雄一鹿児島支部長は「近年は、作業効率の向上で機械化が進み、手縫いも少なくなっている。既存の概念を捨てた分野に需要を起すことが大切なこと」などと説明。また、上中社長は「素材の欠点を利点・長所に生かすなど逆転の発想から商品が生まれたことについて解説した。

海砂採取対策委伊集院地区分会

来年度 予定数量は20.8万㎡

18年度(平成19年度)の海砂採取予定数量についての協議を行う17年度鹿児島海砂採取対策委員会伊集院地区分会(分会長・中園梅義伊集院土木事務所長)が8日、日置市の伊集院合同庁舎で開かれ、分会における18年度の海砂採取予定数量を20万8000㎡とすることを承認した。

冒頭、中園分会長が「海砂は社会基盤整備の推進に欠かせない。採取にあたっては、貴重な資源として漁業などに影響

がなければならぬ。関係者らと協力し適正な採取に努めていきたい」と挨拶。

引き続き中園分会長を議長に、県全体の18年度海砂採取予定数量の基本的考え方を説明。県河川課から「今年度も県の予定数量をもとに、漁協などと検討して適正量を掲げた」と報告した。

その後、議案審議に移り18年度の海砂採取量を20万8000㎡(串木野沖10万㎡、吹上・加世田沖10万8000㎡)とすることを承認。さらに、田畑誠一いちき串木野市長と上園哲生吹上町漁業協同組合代表理事組合長を代表委員に、15日に鹿児島市で開かれる鹿児島海砂採取対策委員会へ報

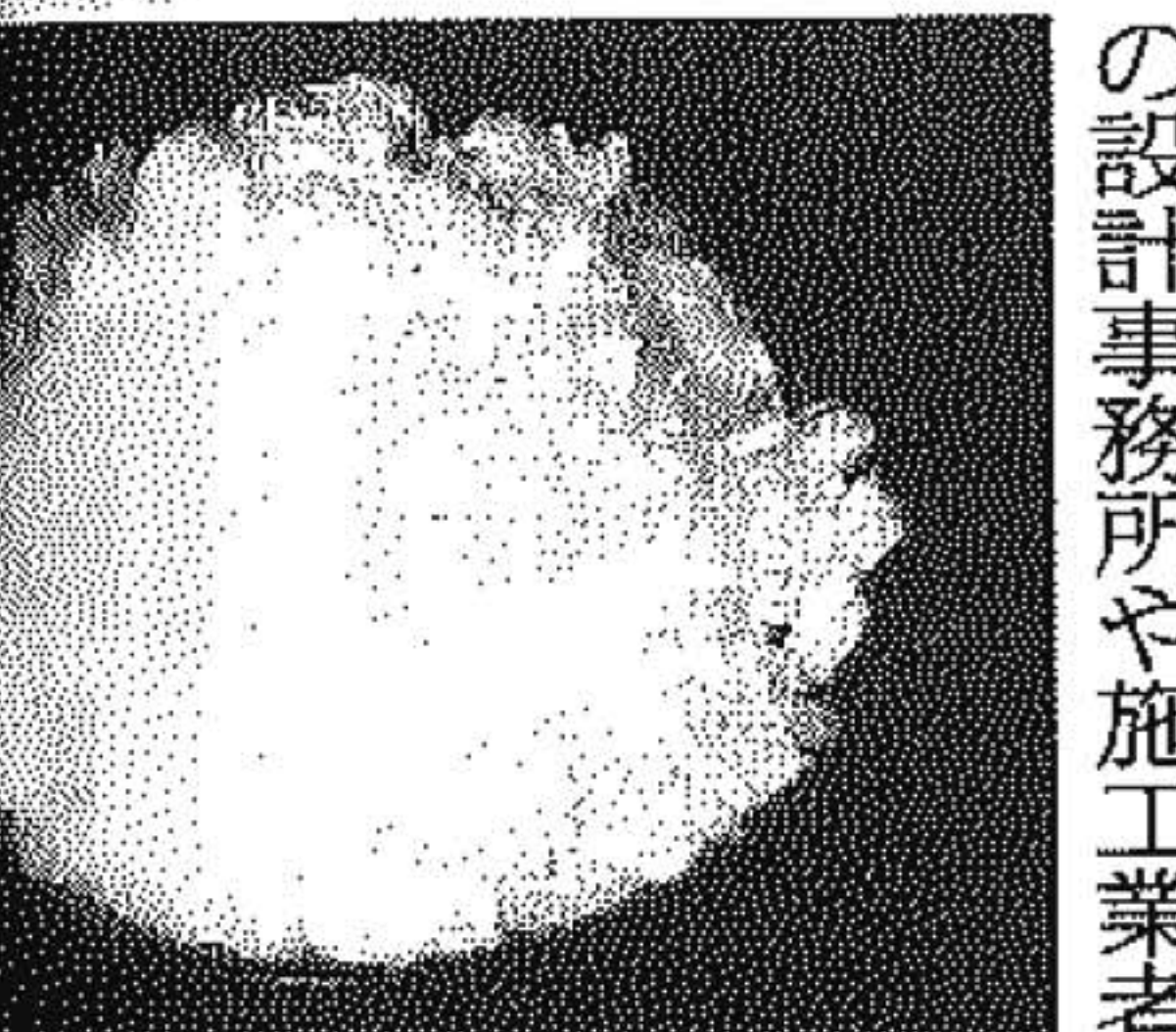
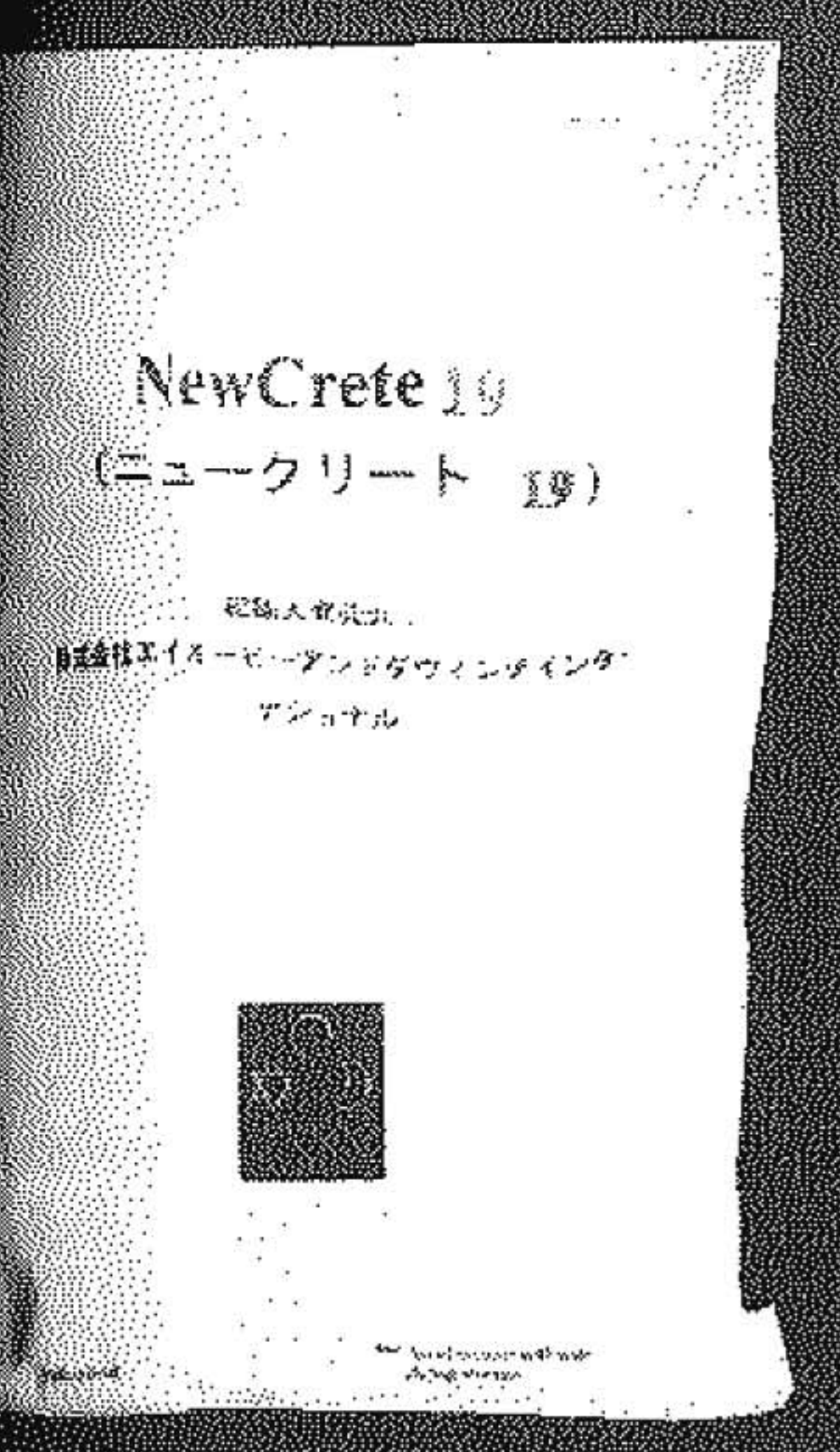
川尻公園模型発表会

研さんの成果披露

霧島市の鹿児島工業高専が、専攻科土木工学科5組で、今年10月から取り組



公園の模型発表会が8日、同校であり、6班が研さんの成果を披露した。霧島市(旧隼人町)発注の同公園測量設計業務を受注した大進(株)(山内康功社長)の協力を得て、意匠に合わせたコンテストもあり、13票を獲得した1班が優勝し、小林清文(大進技術部長)から賞品が手渡された。



コンクリートひび割れ抑制剤「ニュークリート」

曲げタフネス5倍に

スターセイル

(株)スターセイル(南恵子社長)は、コンクリートの長寿命化と建物の安全性などを確保するコン

話題の商品・工法

新商品・工法は本誌に詳しく紹介されています。

ト構造物の新築、補修などの現場で好評を博している。特に、耐震偽造の問題が話題となっている現在では、コンクリートの曲げタフネスを5倍に高め、ひび割れ、はく離はく落、雨漏り防止などにつながる、結果として高品質で耐久性の高いコンクリートが確保できることから、公共・民間工事等への採用に向け県内の設計事務所や施工業者

の注目を集めている。

ニュークリート19は、コンクリート1㎡に1袋(400g)を練り混ぜるだけで鉄筋コンクリート構造物の長寿命化とライフサイクルコストの低減などが図れ、建物の安全性確保につながる商品として脚光を浴びている。

また、新築後に発生する保全、修繕などのランニングコストの低減にもつながる。新築時に使用することで建物の資産価値を高め、維持管理コストの削減効果も期待できる。

問い合わせは、(株)スターセイル(099・260・3973 FAX 260・3825) ホームページhttp://www.star-seil.com/ まで。